

## 第6学年〇組 学級活動指導案

平成30年〇月〇日 (〇) 第〇校時

指導者 広瀬 千尋

### 1 議題 「卒業文集のクラスページをつくろう」

#### 2 児童の実態と議題選定の理由

本学級の児童は、係活動を仲間と楽しそうに行っており、クラスのためにできることを考え、意欲的に活動している。また、学校のリーダーとしての意識も高まりつつあり、たてわり班活動でも、自分の役割を果たそうと積極的に取り組む様子が見られた。

学級活動については、年度当初にオリエンテーションを行い、扱う議題や進め方について共通理解を図った。その後「クラスの Mascot キャラクターを考えよう」「6年〇組らしい学級旗をつくろう」「〇〇パーティーをしよう」などの議題で学級会を行ってきた。その結果、話合いの進め方について理解している児童も増え、自分から意見を発表できる児童が増えてきている。また、「学級会が楽しい」という児童の声も聞かれる。(略)

本議題は、卒業を前にし、「仲間と一緒に過ごせて本当によかったという気持ちで卒業したい」「クラスの仲のよさをしっかりと伝えたい」という、児童の思いから提案されたものである。以前のクラスレクや学年レク、学級会の経験を生かし、互いの意見を尊重し合いながら真剣に考えることで、学級内の人間関係を深めていきたい。また、自分たちの力で、よりクラスの団結を深めていこうとする自治的能力をもった児童を育み、「主体的・対話的で深い学び」の確かな定着を図る。

#### 3 評価基準

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
友達の意見をよく聞き、進んで発言しようとしている。	提案理由を踏まえ、友達と自分との意見の違いを考え判断し、自分の考えを、理由をつけて発表することができる。	話合いのルールや、決まったことがわかる。

#### 4 事前の活動

月/日	活動の場	活動の主体	活動の内容	○指導上の留意点 ◎目指す児童の姿
〇/〇 (〇)	業間休み	計画委員	・議題案を整理・選定する。	○計画委員会は輪番制とし、多くの役割を経験できるようにする。
	帰りの会	全員	・議題を決定する。	○計画委員の提案をもとに全員で決定する。 ○提案された全議題の視点のよさを称賛する。
〇/〇 (〇)	業間休み	計画委員	・活動計画を作成する。 ・提案理由を確認し、練り上げる。 ・話合いの柱、めあて、役割分担を決める。	○みんなが納得できる提案理由になるよう提案者に指導、助言する。 ○提案理由に沿っためあてが考えられるように助言する。 ◎提案理由を踏まえためあてを考えている。(思考・判断・実践)【発言・観察】
〇/〇 (〇)	帰りの会	全員	・計画委員が話し合うことを全員に知らせ、学級会ノートを配る。	・決まっていること(条件)を共通理解できるようにする。 ・提案理由に沿った意見が書けるよう助言する。
〇/〇 (〇)	業間休み	計画委員	・全員の学級会ノートに目を通す。	・話合いの見通しがもてるようにする。 ・話合いの進め方を理解している。 (知識・理解)【ノート・観察】

○/○ (○)	朝の会	計画委員	・学級会ノートを全員に配る。	・計画委員を励まし、意欲を高める。
------------	-----	------	----------------	-------------------

5 本時について

(1) 本時のねらい

以前の学級会の経験を生かし、提案理由を踏まえ、全員がクラスページ作りを楽しみにできるような内容を考えることができる。

(2) 児童の活動計画

第 8 回 学級活動 活動計画		平成 30 年 月 日 ( ) 第 校時
議題	「卒業文集のクラスページを作ろう」	
役割分担	司会 ( ) ( ) 提案者 ( ) 黒板記録 ( ) ( ) ノート記録 ( )	
提案理由	わたしたちは、学級会で色々なことをふれ活動してきました。「クラスの旗」「パーティー」など、クラスみんなで色々な事を話し合い楽しい思い出を作ってきました。卒業文集を作る時期となり大人になって見返した時、小学校生活を思い出す事ができ、クラスの仲の良さが伝わるクラスページにしたいと思い、提案しました。クラスページ作りを通して「みんな協力してつくり上げた」という達成感を味わえるようにしたいと思います。	
めあて	思い出になり、クラスの仲の良さが伝わるクラスページを考えよう。	
決まっていること	○ページ数・・・5ページ ○全員が作成に関わる。 ○準備時間・・・授業1時間と休み時間を中心に準備	
話し合いの順序	気をつけること	準備
1 はじめの言葉	は、きりと全体に関心する声で進行する。	
2 計画委員の紹介	自分のめあてを言って、自己紹介をする。	
3 議題の確認	わかりやすく説明する。	
4 提案理由やめあての確認	黒板に書いて、全体にし、かりと伝える。	もぞう紙
5 決まっていることの確認	決まっていることに気をつけて話し合っもらう	
6 話し合うこと		
①どんな内容にするか	以前経験した学級会のことを思い出し、そのことを活かした話し合いになるようにする。	
②ページでどんな工夫ができるか		
③どんな係が必要か		
7 決まったことの発表	ノート記録がは、きり伝える	
8 学級会ノートへの記録	自分のことや友達のことを振り返ることができるようにする。	学級会ノート
9 先生の話	し、かり聞いて今後へ活かせるようにする。	
10 おわりの言葉	クラスページ作りをみんなが楽しみにできるように、元気よく言ってもらおう。	

(3) 教師の指導計画

話合いの順序	指導上の留意点	(評価の観点) ・ 目指す児童の姿 【評価方法】
1 はじめの言葉	・ 明るい雰囲気話し合えるよう、笑顔で見守る。	
2 計画委員の紹介	・ その子なりのめあてが言えるように、事前に指導する。	
3 議題の確認		
4 提案理由やめあての確認	・ 提案者の思いや願いを深め、学級全員の問題であることがわかるようにする。 ・ 提案理由を意識した話合いができるように助言する。	
5 決まっていることの確認		
6 話し合うこと		(思考・判断・実践)
① どんな内容にするか	・ 児童の意欲が損なわれないように、必要なときには積極的に助言を行う。 ・ 自治的活動の範囲を超えそうな場合は必要に応じて助言する。	・ 提案理由をもとに自分の意見を考え発言している。 ・ 友達の意見を参考にして新たな意見や折衷案を考えて発言している。
② ページでどんな工夫ができるか	・ 少数意見であっても発言の機会を与える。 ・ 自分の考えに固執せず、納得した上で考えを変えるなど、折り合いをつけることも必要であることについて助言する。	【ノート・発言・観察】
③ どんな係が必要か		(知識・理解)
7 決まったことの発表		・ 話合いの進め方や約束を理解している。 【ノート・発言・観察】
8 学級会ノートへの記録	○ 自己評価とともに、友達のよかった点など相互評価ができるよう助言する。	
9 先生の話	○ 提案理由を意識した発言や学級全体を考えた建設的な発言、友達の意見と関連させた発言などを称賛するとともに、今後の課題を伝える。	
10 おわりの言葉	○ 計画委員の活動を称賛するとともに、今後の活動への見通しを確認する。	

6 事後の活動

児童の活動	○指導上の留意点 ◎目指す児童の姿
○/○ (○) 業間休み ・ 担当者、役割分担を決める。 ○/○～○/○日 ・ 係ごとに、クラスページの作成	○ 全員が関われるように分担し、仕事の内容を確認する。 ○ 活動の時間や必要な用具等を十分に確保する。 ○ 意欲的に活動している児童や、協力して活動している児童、工夫して活動している児童を称賛する。 ◎ 責任をもって、準備したり参加したりしている。 (関心・意欲・態度) 【観察・振り返りカード】

## 実践報告

### 【成果】

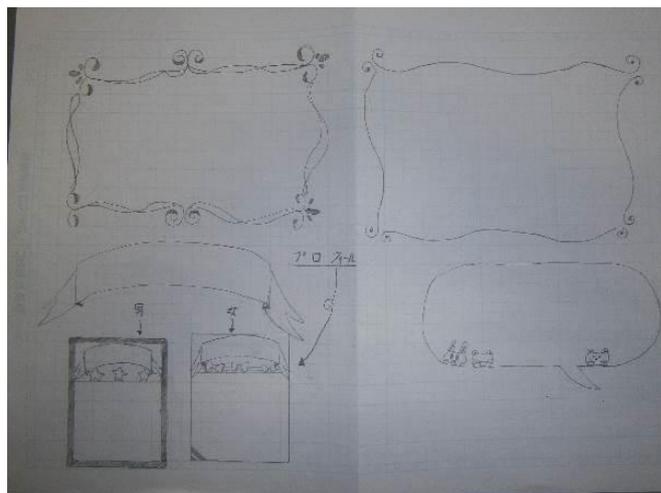
- 議題に必要感があり、自分たちでどうにかしたいという気持ちで話し合いを進めることができた。
- 司会グループみんなで助け合って、話し合いの進行を考えていた。
- 「このことを先に話し合ったらどうですか」など、交通整理をする意見がフロアから出ていた。

### 【改善したい点】

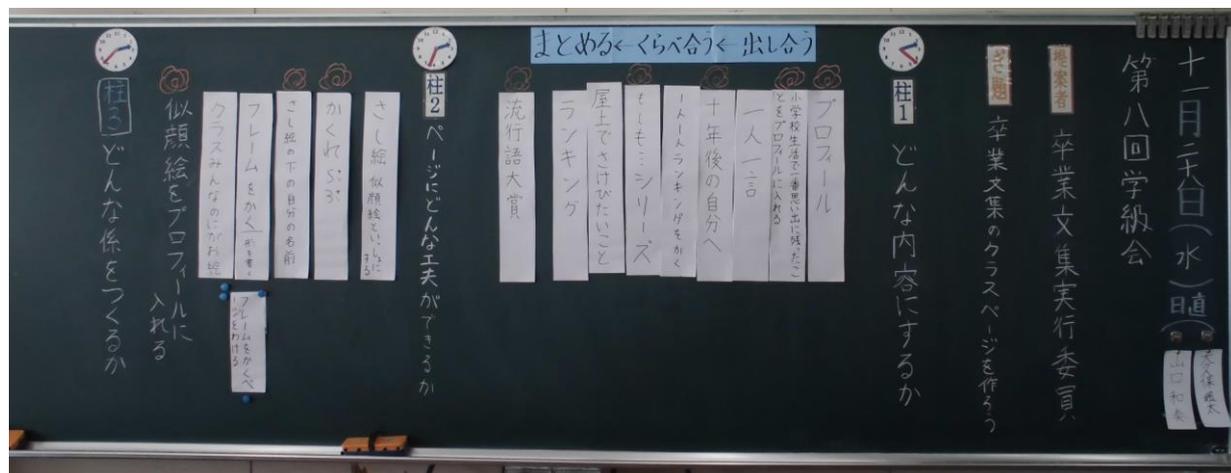
- プロフィールやフレームなど、共通理解が不十分な部分があったため、紙に書いて掲示しておくなど具体物があるとわかりやすく、話し合いもしやすかった。
- 意見が出る度に拍手をしていたが、賛成する意見や話し合いを進める意見だけに拍手をするなど、拍手をする意味をしっかりと考えた方が効果的であった。
- 文集を作る意義を、提案理由でしっかりと確認し、話し合いの方向がずれたときの拠り所にするべきであった。
- 似た意見をつけるなど、黒板の操作化をより意識すると、児童も思考しやすくなるので、次回以降の司会グループとの課題にしたい。
- 「出し合う」から「くらべ合う」の間に、質問の時間を設けることが大切であるため、質問の時間でしっかりとした共通理解を図っていきたい。



<学級会当日の様子>



<事後の活動で、児童が作成したフレーム>



<学級会当日の板書>